

第208回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成27年5月7日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
古磯 勝子 (副委員長)
青木 敬信
君島 理恵
畠山 大
町田 明久

(2) 欠席委員の氏名 早川 富美子

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

4月5日の夜7時から放送した特別番組「こころカフェ～みんなの心が元気になるトーク&ライブ」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

この番組は、3月21日に宇都宮市のオリオンスクエアで開催した自殺防止啓発イベントの様子の一部を、翌々週に特別番組として放送したものです。

トークショーでは、教育問題に造詣の深いラジオDJの山本シュウさんと、県カウンセリング協会の理事長で臨床心理士の丸山隆先生のお二人から、「心の病」を未然に防ぐための「こころのケア」をテーマにお話を伺いました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

県がこのような取り組みをしていることを初めて知った。
自殺へ向かう心を、地域のセーフティーネットの力で防ごうという趣旨がうまく表現されていた。

委員：

相手のプライドを傷つけることなく関わっていくことの大切さを訴えていた丸山さん。
また、「OH、ドラマチック！」などと気持ちを楽に切り替える方法を提案していた山本シュウさん。
2人それぞれがスタンスこそ違えども、この問題への想いを一生懸命に伝えようとしていて、その話に引き込まれた。

委員：

2人の話は「なるほど」と思うところが随所にあり、特に、山本さんの話には元気づけられ、また励ますように話していたのが、好印象だ。

委員：

実際のイベント当日の様子は、どうだったのか？

事業者：

ステージは常に200人から300人の聴衆があった。重いテーマであることを考えると、期待以上の人数に話を伝えることが出来たと考える。

また、弊社で長く番組を担当し、県内に固定ファンを多く持つ せきぐちゆきのライブステージもあわせておこなった。彼女のメッセージ性の強い歌詞が、番組の趣旨にうまく合致していた。
ライブ目当てでイベントに来た人にも、この問題について知ってもらうことが出来たはずだ。

委員：

特番全体として、またトークショーのまとまりを考えると、必ずしも全てがうまく構成されてはいなかったかもしれないが、しっかりと問題提起やその取り組みをアピール出来ていたと思う。

委員：

自殺に至る事情はそれぞれだと思うが、そこに救いとなるアドバイスがあれば、考えを改めるきっかけになるかもしれない。こうしてメディアを通して、今後もこのテーマを番組やイベントで扱うことで、自殺願望を抱く人たちにメッセージを届けてほしい。

委員：

イベントには自殺について思い悩んでいる人は来ていないだろうから、放送やインターネットを通して、イベントで2人が言ったことを伝えられたらと思う。

委員：

メディアとして、呼びかけを続けることは大切なことだと思うが、人の心の中のことなので、それを番組として不特定多数に呼び掛けていくことに、番組の作り手は困難が伴うであろう。

自殺願望のない我々は、「こうしたメッセージは対策にいい」と判断してしまうが、実際に願望を持つ人たちにはどう聞こえるのかと考えると、非常に難しい。

さらに自死遺族への配慮にも細心の注意を払うべきであり、作る側に最大限の配慮が求められる

テーマである。

委員：

不特定多数に対して発信することの難しさもあるが、当事者だけでなく周りの人への働きかけも大事なことだと思う。

社会として対策に取り組む姿勢を示し、それが理解され、地域それぞれにサポートネットワークが作られる下地作りに、この放送は貢献出来たのではないか。

委員：

テレビは一方的に目や耳からたくさんの情報を伝えてきて、それを流してしまいがちだが、ラジオならば、その話を頭の中でじっくりと考えながら聴くことが出来る。

ラジオから直接メッセージを届け、そこで自殺を考え直すきっかけを与えることが出来るはずで、今後もラジオで積極的に取り上げていくべきテーマであろう。

事業者：

ラジオでは、夜に若者と向き合う番組が多く放送されてきたが、最近は縮小の傾向にある。

委員：

一度だけのイベント、一度だけの放送ではなく、継続的に伝えていかねばならないテーマだ。短い時間でもいいので毎週コンスタントに呼び掛けることの出来る番組を今後、期待したい。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を6月4日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 5月31日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし